



民生委員・児童委員の皆さんにお聞きしました 活動のやりがい・あたたかいエピソード

地域で活躍する現役の民生委員・児童委員の皆さんに、活動のやりがいや、実際に体験したあたたかいエピソードについてお聞きしました。

広報まちだ2019年10月14日号の紙面ではお伝えしきれなかった数々のお話をこちらでご紹介します。

町田第一地区 M委員

不登校の中学生への支援・見守り活動するうちに、徐々に自分の生活の話をしてくれるようになりました。訪れると「また来たの!」と嬉しそうに言い、お互い笑顔でいろいろと話をしました。

結局その子は卒業式にだけ出席することができ、証書を貰うときには感無量でした。式中也来賓席にいる私と目が合い、言葉のないアイコンタクトで会話したように思います。「卒業おめでとう」と声を掛けると「ありがとう」とあり、民生委員活動の重みを感じました。その子は現在無事に高校生活を送っているとのことでした。

町田第一地区 O委員

「こんにちは」「待っていたのよー!」玄関先での会話とはいえ、民生委員活動をしていて一番うれしい言葉です。

活動を通して関わっていた一人暮らしの女性から「主人との思い出のある花、毎年見事に咲いてくれるのよ。いつも話を聞いてくれてありがとう」と大切にしているお花をいただいたときには感涙でした。

今はご主人と仲良く天国で楽しくおしゃべりしているのでしょうかね。

私は星空を眺めては「ありがとう」と声を掛け、一人でも多くの地域の皆さんに私達の笑顔を受け入れていただけるように、今日も「こんにちは!」

町田第二地区 K委員

民生委員活動を行う中で感じるのは「やりがい」よりも「知りがい」かもしれません。

民生委員はその立場上、市民の皆様が直面する課題を解決することも、またその力もないのですが、専門機関につなげることはできます。様々な研修や事例を通し、福祉のプロの働きぶりを目の当たりにし、圧倒されたり、信頼感を強めたりしています。

「ゆりかごから墓場まで」の言葉通り、福祉に関する幅広い情報が得られるのも民生委員活動の魅力の一つでしょうか。

町田第二地区 K②委員

街頭で民生委員のPR活動を行っていたとき、「民生委員さんにはいつもお世話になっているのよ。相談に乗ってもらったり、話を聞いてもらったりして心の支えになってもらっているの」と感謝の気持ちを伝えてくださった方がいました。

また、高齢の方々を訪問しているときには「一人ではどうして良いかわからなかった。市のサービスを知ることが出来て良かった」と言っていただけでとても嬉しかったです。

南第一地区 M委員

地域の方々から色々な相談を受けますが、それだけ頼っていただけることは地域の皆様から信頼をいただいているようで私は嬉しく思います。特にご高齢の方からは「何かあったらあなたとと思っている」と何人もの方から言われ、その度に、必要とされているうちが華だとやりがいを感じます。

多くの人と出会い、多くを話し合い、多くを学ぶ、それを楽しみやりがいとを感じるか、忙しいと感じるかは人それぞれ。私は15年間、民生児童委員になったからこそ書き切れない程の多くのやりがいを感じさせていただきました。

南第一地区 K委員

「元気で頑張っています」笑顔で声を掛けてくれたAさん。かつて生活保護受給者として、私の担当地域に居住していた方です。短い会話の中で「仕事のこと等、色々と親身になって相談に乗っていただき、本当に感謝しています。二度と前の生活には戻りません」と自立されたことを話されました。

当たり前のことを当たり前のように行っただけで、このような感謝をしていただき、とても嬉しく思いました。今もって、この言葉が脳裏に残り、忘れることはありません。暫く姿を拝見していませんが、きっと元気に働いていることと思います。

南第二地区 N委員

私が民生委員児童委員をお引き受けしようと思ったのは、今から約6年前のことでした。私にこれから何ができるのだろうと多少の不安を覚えたのも事実でした。

何よりもうれしかったのは、高齢者訪問を通して、町田に引っ越してきたばかりで介護を始められたご家族に支援サービスの説明と資料の提供ができ、支援に繋げることができたこと、また、介護の様々をお聞きしただけでしたのに、そのご家族がお父様を見送られた後で私の家に報告に来てくださったことです。私との何気ない会話に勇気と自信が持てたと言っただけでした。再出発に向かわれると笑顔を見せてくださったのは望外な喜びとなりました。

南第二地区 M委員

民生委員として市民の方の相談相手となるなど、役割を果たしているだけなのに予想以上に感謝されたり、民生委員としてお手伝いした方々が、日常生活を無事に過ごされている様子を拝見しますととても嬉しく思います。

鶴川第一地区 M委員

私が民生児童委員活動において感じるやりがいは、訪問や相談などを通じて地域の特性をより深く知ることが出来ることです。担当地域だけでなく、町田市のことを福祉的な視点から勉強できます。

次に、微力ですが、児童扶養手当の申請などの相談を通じて、地域の方々に役立っていることです。

最後に、定例会やその他の奉仕活動において、仲間の民生児童委員の方々と交流が深まることです。職場と違って上下関係がなく、共に語り合い、地域活動ができること、何と幸いなことでしょうか。

今後とも、町田市の関係部局、社協のみなさん、民間の社会福祉事業者などの方々と連携し、地域住民の方に寄り添って奉仕していく者でありたいと願っています。

鶴川第一地区 Y委員

近所に両親の離婚で父の元から母の元に来た兄弟が住んでいます。当初は民生委員として「学校に慣れるか？地域に馴染むか？」と気にして見守っていました。登校は兄弟二人で、下校後も二人でひっそりと遊んでいる姿を見て、友達は近くにいないのかな？と思う日々が続いていました。

半年ぐらい経った頃から少しずつ変化が起こり、友達とひとり、ふたりと遊ぶようになり、兄弟の表情が明るくなっていました。今では、多い時は6人ぐらいの子ども達と外遊びを楽しむ姿が日課になり、にぎやかな子ども達の集団が出来ました。夕食時に聞こえる子ども達の声は幸せな一時です。

今は民生委員としてではなく、近くのおばあちゃんとして挨拶してくれる間柄になりました。

鶴川第二地区 M委員

お一人暮らしのAさん。お会いしているうちに、いつしか次第に悩みを話して下さるようになりました。母親が亡くなった時の寂しさや、「職場で仲間と上手くやっていけず辞めたい」など、傾聴していくうちに私もAさんの純真さに触れ、一緒に涙したり、時には握手をして笑顔で別れたり……私を励ましてくださったこともありました。

今は転居でお会いする機会がなくなりましたが、民生委員活動は私にとって大切ないつまでも忘れられないAさんとの出会いになりました。

鶴川第二地区 N委員

高齢者の訪問に伺う際、頭に浮かぶお顔がいくつかあります。

どなたも、笑顔で民生委員としての自分を迎えてくださっています。数年前にご主人に先立たれたご婦人などなど。笑顔ってすごいと思います。他の用事の時も、「Nice to meet you!」と笑顔で語りかけてくれた方もいます。びっくりしたけど、嬉しかったです。

具体的に書けず残念ですが、小生のような者でも頼られているのかなと思うことがあります。お礼の言葉をいただいた時には、良かったなと思ってスキップするような気持ちで帰ります。

忠生第一地区 N委員

民生委員の私の元には、突然知らない方から相談の電話が入ることがあります。それはバスの中だったり、電車の中だったり、時には夜10時過ぎだったこともあります。

長時間話せない時には折り返しにさせていただきますが、困った末の電話なので、初回の話はどうしても長くなります。メモを持っていない時などは、内容を忘れないように頭の奥にしまい込むようにしています。

児童手当の申請であったり、リフォーム詐欺対策であったりと内容はさまざまですが、よろずの心配ごとをそれぞれの専門機関につなげていく貴重な役割を実感しています。

忠生第一地区 N委員

訪問活動を行う際、必ず待っていて下さる方が何人もいて、私と話すとき「気が晴れる」とか「元気をもらえる」と言ってくれます。

日々の苦労や愚痴など、たわいもないことを聞いてくれるだけなのですが、民生委員には守秘義務があることを知っているので安心して話してくれるようです。

忠生第一地区 S委員

民生委員としてふれあいサロンのお手伝いを始めて15年になります。

2か月に1回のサロンですが、0歳の乳児から80歳前後のお年寄りまで、多数の方々に参加していただいています。

若いお母さんたちには、子育ての悩み・苦勞など、何かお役に立てばと思い、皆さんの様子を見守っています。そしてお年寄りの方々には、簡単な手芸などを作っています。

作品が出来上がった時は、皆さん首にかけたり、テーブルの上に置いたり、とても嬉しそうです。

その笑顔を見ていると、お手伝いに参加できて良かったと思います。

忠生第一地区 T委員

スーパーでの買い物途中、サロンの利用者の方から声を掛けられ、「先日教えてもらったものを色違いで作りました」と見せてくださったことがありました。

それは子ども達と高齢者の方々と参加しているサロンで作ったネックレスの色違いのものでした。お友達にも作ってあげたのよ、と話してくださり、別れ際には「今度のサロンも楽しみにしています」と聞いてとても嬉しい気持ちになりました。

忠生第二地区 S委員

母子家庭のご家族と関わっていました。教育資金の相談から連絡を取ることが度々あり、不登校になっているお子さんが小学校・中学校とほぼ登校せず、カウンセリングなどを受けているとお話がありました。

高校進学を希望しているお子さんについて不安なことがあると相談がありましたが、後に無事にお子さんに合う高校が見つかり進学されたとても喜ばれていました。

その後引っ越しすることが決まったと連絡が入り、「とてもお世話になりました。ありがとうございました」と言葉をいただき、嬉しく思いました。

忠生第二地区 M委員

ご主人を亡くされて一人で過ごしていらっしゃる方が「あまり外に出かける事もなくて」と話していらしたので、ボランティア活動をご紹介しました。娘さんからの後押しもあって、今元気に活動していらっしゃいます。

その方にお会いすると「今、楽しくて。誘っていただいて本当にありがとう」と言葉をかけていただき、こちらも感謝の一言です。

堺地区 S委員

ご相談を受けて各関係機関へお繋ぎした方が、その後安心して生活されていると分かった時にはとてもやりがいを感じます。

堺地区 T委員

高齢者のご夫婦で奥様が入院。奥様の退院後、ご主人の献身的な介護に頭が下がりました。次第に元気になっていく奥様。ところが、ご主人が突然お亡くなりになりました。

元気の無くなった奥様を見守り、関わっていく中、時間はかかりましたが、一人でバスに乗って外出するまでになり、嬉しくなりました。

地域の民生委員・児童委員へご相談の際は、福祉総務課（724-2537）へご連絡ください。お近くの民生委員・児童委員をご紹介します。

